

# Cisco MPP Phoneのスピードダイヤル用のプログラマブル回線キーの設定

## 目的

この記事では、マルチプラットフォームファームウェアを搭載したCisco IP Phoneのプログラマブル回線キー(PLK)でスピードダイヤルを設定するために必要な手順について説明します。

## 概要

Cisco Multiplatform Phone(MPP)は、Session Initiation Protocol(SIP)を使用してVoice over Internet Protocol(VoIP)通信を提供します。SIPは、リアルタイムセッションを開始、維持、および終了する、最も頻繁に使用されるシグナリングプロトコルです。これらのセッションには、音声、ビデオ、およびメッセージングアプリケーションが含まれます。これにより、従来の電話回線が不要になり、社内での電話機の携帯性が向上します。VoIPを使用すると、電話機はコストのかかるT1電話回線ではなく、既存のネットワークインフラストラクチャとインターネット接続を使用します。これにより、より少ない「回線」でより多くのコールを管理できます。その他の有益なオプションには、コールの保留、コールの保留、コールの転送などがあります。一部のモデルでは、VoIPに加えてビデオ通信が可能です。

MPP電話は通常の電話のように設計されており、その目的のためだけに使用されますが、基本的にはコンピュータであり、ネットワークの一部です。MPP電話機には、インターネットテレフォニーサービスプロバイダー(ITSP)またはIP構内交換機(PBX)コール制御サーバからのサービスが必要です。WebEx Calling、Ring Central、およびVerizonはITSPの例です。Cisco MPP電話機で動作するIP PBXサービスの例には、Asterisk、Centile、およびMetaswitchプラットフォームがあります。

スピードダイヤルは、電話番号または内線番号へのダイヤルプロセスを自動化する機能です。設定が完了したら、ユーザは1つのボタンを押して番号をダイヤルできます。スピードダイヤルは、多くの電話システムで一般的です。頻繁に呼び出される番号に対して設定されません。

Cisco IP PhoneにはPLKがあります。これらは、ユーザが利用できる同時コールの数です。電話機に4つの回線キー(下の図を参照)がある場合、その電話機は4つの同時アクティブコールを保持できます。オフィスによっては、各回線で異なる電話番号が設定されている部署が異なる場合があります。特定の回線にコールが着信すると、そのコールを受信したユーザは応答方法を認識します。

使用可能な回線が必要以上に多い場合は、これらの回線キーの1つ以上にスピードダイヤルを設定できます。回線キーに短縮ダイヤルを設定すると、その回線は無効になり、外部コールを受信しなくなります。一部のモデルでは、キー拡張モジュール(KEM)を使用して回線キーを追加することもできます。



注：一部のCisco IP Phoneには、使用可能な追加の回線がないため、プログラム可能な機能ボタンがありません。

多くのユーザは、回線キーをコールに使用できるようにするか、または使用可能な回線キーよりも多くの短縮ダイヤルを入力したいと考えています。この設定の手順については、[ここをクリックしてください](#)。

## 該当するデバイス

- Cisco IP Phone 6800 Series Multiplatform Firmware
- Cisco IP Phone 7800 Series Multiplatform Firmware
- Cisco IP Phone 8800 Series Multiplatform Firmware

## [Software Version]

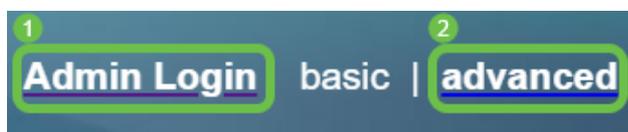
- 11.2.3

## プログラマブル回線キーでの短縮ダイヤルの設定

ステップ1：グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)にアクセスするには、電話機のIPアドレスを知っている必要があります。Cisco IP PhoneにはデフォルトのIPアドレスは付属していません。電話機のIPアドレスの検索方法がわからない場合は、[ここをクリックして手順を確認してください](#)。

ステップ2：電話機のGUIにアクセスします。この問題に関するサポートが必要な場合は、[ここをクリックします](#)。

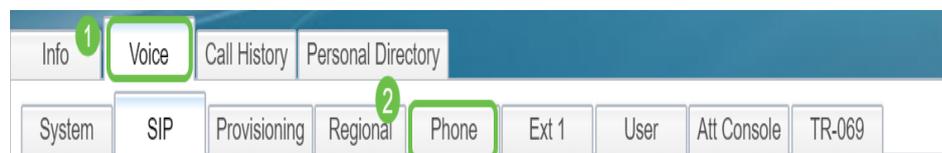
ステップ3:[Admin Login] > [advanced]を選択します。



注：もう1つのオプションは、電話機のIPアドレスを入力し、Webブラウザに `/admin/advanced` を追加することです。

 192.168.0.101/admin/advanced

ステップ4:[Voice] > [Phone]を選択します。

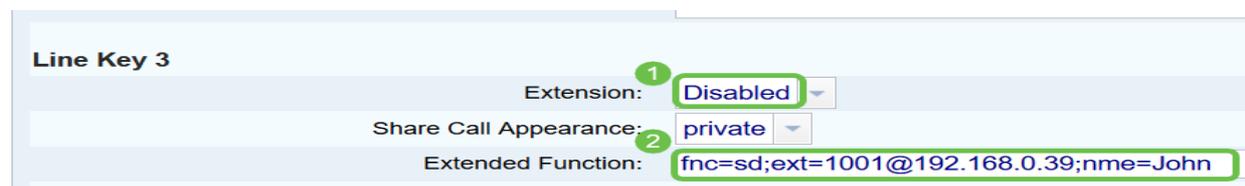


ステップ5：短縮ダイヤルとして割り当ててることを選択した回線キーを検索し、[内線(Extension)]ドロップダウンリストから[無効(Disabled)]を選択します。「拡張機能」フィールドに、適切な文字列値を入力します。この例の場合、

`fnc=sd;ext=1001@192.168.0.39;nme=John`が入力されています。

場所：

- fnc：拡張関数の定義
- ext：これは、ダイヤルする電話番号または内線番号です。
- IPアドレス：これはsipプロキシのIPアドレスです。この例では、FreePBXに接続する Raspberry PiのIPアドレスです。
- nme: (オプション)ダイヤルする内線番号の名前です。指定しない場合、スピードダイヤル番号が表示されます。



ステップ6:[Submit All Changes]をクリックします。



ステップ7：設定が保存されると、名前が画面に表示され、水平の線の付いたハンドセットのイメージが表示されます。これはスピードダイヤルの記号です。



ステップ8：その人にコールを発信するには、ハンドセットを取り上げ、コールする連絡先の右または左にある電話機の回線キーを押します。

注：スピーカフォンまたはヘッドセットを使用してコールを発信する場合は、ボタンを押

すだけでコールが送信されます。

これで、IP Phoneの回線キーに短縮ダイヤルが設定されました。

また、その同僚の回線が使用中かどうかに関係なく、その同僚のステータスを最新に保つことができます。ビジーランプフィールド(BLF)を使用して設定およびモニタする場合は、[ここをクリックしてください](#)。

## この記事に関連するビデオを表示...

シスコのその他のテクニカルトピックを表示するには、[ここをクリックしてください](#)